

渋谷区基本構想等審議会答申（平成28年8月9日案）からの変更点

No.	委員発言要旨	頁	新	旧
1	「ロンドン、パリ、ニューヨーク、渋谷区」は矛盾がある。	4	渋谷区が目指すのは、規模こそ異なるものの、ロンドン、パリ、ニューヨークなどと並び称されるような『 <u>成熟した国際都市</u> 』です。	渋谷区が目指すのは、「ロンドン、パリ、ニューヨーク、渋谷区」と言われるような「 <u>成熟した国際都市</u> 」です。
2	福祉の分野における「共生」という思想が抜けているのではないか。	7	すべての人々が支え合い、どんな人でも自分らしく生きていける <u>共生の街</u> をつくる。	すべての人々が支え合い、どんな人でも自分らしく生きていける街をつくる。
3	福祉は福祉を超えられるかという表現よりは、福祉の原点を守りつつ、福祉でまちづくりをする視点を明らかにしていくような表現が良いのではないか。	7	<p>■ <u>福祉は、創造力を秘めています。</u></p> <p>ひとつめの鍵になるのは、福祉という概念に対する人々のイメージを変えること。「<u>こころのバリアフリー</u>」にとどまらず、<u>社会を進化させる福祉とは何か、未来を明るくする福祉とは何か、産業や文化をつくるヒントになる福祉とは何か。それらを渋谷区が率先して追求、実践していきます。</u></p>	<p>■ <u>福祉は、福祉を超えられるか。</u></p> <p>ひとつめの鍵になるのは、福祉という概念に対する人々のイメージを変えること。「<u>こころのバリアフリー</u>」にとどまらず、<u>社会をより魅力的にする福祉とは何か。産業や文化をつくるヒントになる福祉とは何か。それを渋谷区が率先して追究、実践していきます。</u></p>
4	—（表現の整合性を図る）	7	民間企業や NPO <u>など</u> とも手を組みながらととのえていきたい。	民間企業や NPO とも手を組みながらととのえていきたい。
5	本来的に、持続可能な環境とは、生態系を維持することであり、我慢が必要なのであって、生活の快適さを維持することとは矛盾するのではないか。	9	<p>持続可能な環境を実現するいちばんの力は、<u>一人ひとりの日々の暮らしを愛する気持ち。そしてそれを守りたいというモチベーションです。</u></p> <p><u>ごみについてもエネルギーについても、渋谷区にかかわるすべての人が、自分の生活と街の環境を地続きのものとして考えられるように。まずは毎日のごみを減らす、エネルギーを節約するといった身近な取り組みを盛り上げたい。さらに低炭素のまちづくりを通して、渋谷区は人々の意識をひとつにしていきたいと考えています。</u></p>	<p>持続可能な環境を実現するいちばんの力は、<u>「生活の快適さを維持したい」という一人ひとりのモチベーションです。</u></p> <p><u>ゴミについてもエネルギーについても、渋谷区にかかわるすべての人が、自分の生活と街の環境を地続きのものとして考えられるように。まずは再生エネルギーの活用、さらに低炭素のまちづくりを通して、渋谷区は人々の意識をひとつにしていきたいと考えています。</u></p>

渋谷区基本構想等審議会答申（平成28年8月9日案）からの変更点

No.	委員発言要旨	頁	新	旧
6	一（表現の整合性を図る）	13	区民が主体的に区政に関与できること、さらには <u>区民以外の多様な人々や民間企業、NPOなどとも積極的に連携し、ともに街の課題に取り組むことで、より多くの声が反映されるまちづくりを進めていきます。</u>	区民が主体的に区政に関与できること、さらには <u>区民以外の多様な人々、機関、企業等とも積極的に連携し、ともに街の課題に取り組むことで、より多くの声が反映されるまちづくりを進めていきます。</u>
7	一（表現の整合性を図る）	17	<u>民間企業やNPOなどとの連携による新たな学習機会の創出</u>	<u>NPOや企業との連携による新たな学習機会の創出</u>
8	福祉の分野における「共生」という思想が抜けているのではないか。	18	【政策の柱1】地域における <u>共生型社会の実現</u>	【政策の柱1】地域における <u>共助社会の実現</u>
9	言葉を合わせる必要があるのではないか。	18	<u>ダイバーシティ & インクルージョンの普及によるこころのバリアフリー施策の推進</u>	<u>ダイバーシティ & インクルージョンの概念を一般化させこころの障壁をなくす施策の推進</u>
10	分煙対策の推進について「タバコの対策」などもう少し広い概念にすべきではないか。	20	様々な健康に関する情報提供の充実（ <u>アレルギー対応、タバコの影響等</u> ）	様々な健康に関する情報提供の充実
11	このページのみ「ICT システム」と「システム」がついているので修正すべきではないか。	20	<u>ICTを活用した保健医療連携の推進</u>	<u>ICTシステムを活用した保健医療連携の推進</u>
12	一（表現の整合性を図る）	21	<u>東京オリンピック・パラリンピックを契機としたさらなるダイバーシティの浸透</u>	<u>2020年オリンピック・パラリンピックを契機としたさらなるダイバーシティの浸透</u>

渋谷区基本構想等審議会答申（平成28年8月9日案）からの変更点

No.	委員発言要旨	頁	新	旧
13	電源の多重化という表現ではわかりづらいので、正しくは「電源の供給の多重化等」としたほうがよい。	22	・防災拠点・施設の整備（電源の供給の多重化等）	・防災拠点・施設の整備（電源の多重化等）
14	オリンピックを契機としたごみ対策に関するレガシーの創出が何を意味するのか分からない。	23	○分別の徹底と3Rの促進【重点】 ・リデュース・リユースを軸とした3R（発生抑制（Reduce）・再使用（Reuse）・再生利用（Recycle））への意識改革 ・東京オリンピック・パラリンピックを契機とした分別ラベルの統一等の取組の推進 ・事業系ごみ対策の強化 ・食品ロスの削減	○快適な生活環境の整備 ・分煙対策の推進 ・落書き対策の推進 ・オリンピックを契機としたごみ対策に関するレガシーの創出
15	23ページの低炭素型都市の実現の中の施策の記載順序だが、全体から細部に入ったほうが良いので「省エネルギー対策の推進」より前に「低炭素まちづくりの推進」を記載すべきである。	23	○低炭素型都市の実現 ・低炭素まちづくりの推進（スマートエネルギーネットワークの構築等） ・省エネルギー対策の推進（HEMS・BEMSへの誘導等） ・再生可能エネルギーの活用 ・水素社会への取組（燃料電池自動車や家庭用燃料電池の普及等） ・環境教育の推進	○低炭素型都市の実現 ・省エネルギー対策の推進（HEMS・BEMSへの誘導等） ・再生可能エネルギーの活用 ・低炭素まちづくりの推進（スマートエネルギーネットワークの構築等） ・水素社会への取組（燃料電池自動車や家庭用燃料電池の普及等） ・環境教育の推進
16	「文化遺産の保全・継承、活用の促進（若者文化等との融合と発信）」の「（若者文化等との融合と発信）」が何を言いたいのか分からない。	28	・文化遺産の保全・継承、活用の促進（新たな視点の創造と発信）	・文化遺産の保全・継承、活用の促進（若者文化等との融合と発信）

渋谷区基本構想等審議会答申（平成28年8月9日案）からの変更点

No.	委員発言要旨	頁	新	旧
17	民泊とバケーションレンタルは並列関係にあるのではないか。	29	・地域に配慮したルールに基づく民泊・バケーションレンタルの推進	・地域に配慮したルールに基づく民泊の推進（ <u>新たなモデルの提案やバケーションレンタル等</u> ）
18	「若者・女性就業者への就業支援」という記載があるが、ダイバーシティを掲げているのであれば、外国人労働者についても記載すべきではないか。	30	若者・女性就業者等への就業支援（わかものハローワーク及びマザーズハローワークとの連携等）	若者・女性就業者への就業支援（わかものハローワーク及びマザーズハローワークとの連携）